

平成 29 年 9 月 15 日

各都道府県教育委員会
高等学校指導事務主管課
義務教育指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中

公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団
事務局長 寶田



小学校・中学校・高等学校の科学教育振興に関する助成の募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、公益財団法人中谷医工計測技術振興財団は、神戸の臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社（東証一部上場：コード 6869）の初代社長・中谷太郎により 1984 年に設立され、それ以来、医工計測技術振興のため、研究開発や技術交流に対する助成、研究者の顕彰等を行っております。

平成 26 年度より中学校・高等学校の科学教育振興に対しても助成することとし、さらに平成 28 年度からは小学校まで助成範囲を広げました。慎重かつ厳正な審査の結果、平成 29 年度は個別 56 件、プログラム 40 件、小学校の先生方を支援するプログラム 12 件に対して助成を行っております。

文部科学省の後援もいただいております。

次年度につき、第 5 回の募集を別紙の通り実施いたしますので、ご案内申し上げます。

本事業についてご理解賜り、ご多用とは存じますが、貴都道府県下の教育機関等にご周知賜りますようお願い申し上げます。

敬具



平成30年度科学教育振興助成 募集要項

当財団は、将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を涵養することが、科学技術の発達はもとより我が国の発展に資するものと考え、中学校・高等学校における科学教育振興を目的とした取り組みに対する科学教育振興助成を平成26年度より実施しています。平成28年度には、科学的興味が芽生える小学生に対する取り組みの重要性やニーズを指摘する声にお応えし、理科好きの小学生を増やすための取り組みにも助成を開始いたしました。

趣旨：

子どもたちの素直な「なぜ」という心を大切にし、科学に対する興味の端緒を見つけ、育成して論理的思考力や創造性を育むための取り組みを支援します。

平成30年度は以下の3種類の募集を行います。

=====

① プログラム助成

助成対象：

広く科学教育を振興するため、小学校、中学校、高等学校等の3校以上の学校・機関がコンソーシアムを形成するなどして、共同で企画・運営する2年間の活動。

*特に小学校を巻き込んだ活動の場合は、地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額：

1件最大100万円／年、ただし2年間を限度とします。

応募資格：

上記の活動の企画・運営を行う代表校またはコンソーシアムの代表。

*平成29年度にプログラム助成を受けている場合は応募できません。

*1校から1件の応募をお願いします。

*高等専門学校の場合、1～3年生が対象となります。

*一貫校、義務教育学校等も対象とします。

② 個別助成

助成対象：

小学校、中学校、高等学校等における児童・生徒の科学に対する関心を高めようとする授業やクラブ活動等。

助成金額：

1 件最大 30 万円（単年助成）

応募資格：

上記の企画と実施に取り組む小学校、中学校、高等学校等。

*平成 29 年度にプログラム助成を受けている場合は応募できません。

*1 校から 1 件の応募をお願いします。

*高等専門学校の場合、1～3 年生が対象となります。

*一貫校、義務教育学校等も対象とします。

③ 意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成

助成対象：

子どもたちの理科の力を向上させるための指導法の改善や学習法の開発などに取り組む意欲的な小学校の先生方を支援する 2 年間の活動。

1) 複数の学校が共同で行う活動。

2) 複数の学校が、研究機関（博物館、科学センター、大学等）や教育センター等と共同で行う活動。

*地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額：

1 件最大 100 万円／年、ただし 2 年間を限度とします。

応募資格：

上記の活動の企画・運営を行う代表機関またはコンソーシアムの代表。

*原則、地方自治体からの応募はできません。教育センター等が参画される場合、教育センター等からご応募いただいても結構です。

*先生方の自主的な研究会は、組織体として整備され教育委員会が承認または認知した組織に限ります。

*平成 29 年度にプログラム助成を受けている場合は応募できません。

*1 校から 1 件の応募をお願いします。

*一貫校、義務教育学校等も対象とします。

=====

募集期間：

平成29年10月15日（日）～12月10日（日） 期日厳守

*当財団ホームページのウェブ申請フォームは、この期間のみアクセスいただけます。

決定時期：

平成30年3月（決定後通知します）

助成金交付時期：

平成30年4月

*学校に対して交付いたしますので、実施担当者の方が転勤された場合には、後任の方に引き継いでいただくことを前提といたします。

応募方法：

当財団ホームページのウェブ申請フォームよりご申請ください。

申請書類は、ご捺印の上、pdf のアップロードをお願いいたします。

審査方法：

審査委員会において審査選考し、理事会で最終決定いたします。

実施報告：

毎年度末に成果報告書および会計報告書を提出していただきます。

成果報告書は当財団のウェブサイトに掲載させていただきますので、ご了承ください。

お問い合わせ先：

お問い合わせは下記ホームページのお問い合わせフォームよりお願いします。

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 IHD ビル5階

公益財団法人中谷医工計測技術振興財団 神戸分室

URL：<https://www.nakatani-foundation.jp>

以上

そのわくわくはきっと未来へ続いている!

科学を体験し、楽しむ
子どもたちをサポートする

助成金のご紹介

小学・
中学・高校
教育機関が
対象です。


文部科学省後援



公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

〔平成30年度助成の応募期間〕

平成29年10月15日～12月10日



科学教育を 通じてつくる、 発展するチカラ。

中谷医工計測技術振興財団は、将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を育み成長させることが、科学技術の発展はもとより我が国の発展に寄与するものと考え、中学・高校における科学教育振興を目的とした取り組みに対して助成する事業を平成26年度より実施しています。

平成28年度からは、理科好きの小学生を増やすための取組みを支援する事業も始めました。

この助成が科学教育発展にご尽力いただいている皆様の一助になればと考えています。

—— 中谷医工計測技術振興財団とは ——

中谷財団は、シスメックス株式会社の創業者・中谷太郎が昭和59年に「中谷電子計測技術振興財団」として設立しました。その意思を継いだ子息の中谷正の遺贈を受け、平成24年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わりました。同年には、公益財団法人に移行し現在の財団名となりました。

当財団は、医工計測技術の広範な発展を推進し、社会および国民生活の質の向上に寄与することを目指しています。医工計測技術分野における先導的技術開発の助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術交流への助成等の事業を行っています。



最新情報については、ホームページをご覧ください。
<http://www.nakatani-foundation.jp/>

詳しくは

中谷財団

検索

お問い合わせは、上記HPの「お問い合わせフォーム」よりお願いします

プログラム助成

助成対象

広く科学教育を振興するため、小学校、中学校、高等学校等の3校以上の学校・機関がコンソーシアムを形成するなどして、共同で企画・運営する2年間の活動。

※特に小学校を巻き込んだ活動の場合は、地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額

最大100万円／年

ただし、2年間を限度とします。

応募資格

上記の活動の企画・運営を行う代表校またはコンソーシアムの代表。

※高等専門学校は、1～3年生が対象となります。

個別助成

助成対象

小学校、中学校、高等学校等における児童・生徒の科学に対する関心を高めようとする授業やクラブ活動等。

助成金額

最大30万円（単年助成）

応募資格

上記の企画と実施に取り組む小学校、中学校、高等学校等。

※高等専門学校は、1～3年生が対象となります。

意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成

助成対象

子どもたちの理科の力を向上させるための指導法の改善や学習法の開発などに取り組む意欲的な小学校の先生方を支援する2年間の活動。

- 1) 複数の学校が共同で行う活動。
- 2) 複数の学校が、研究機関（博物館、科学センター、大学等）や教育センター等と共同で行う活動。

※地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額

最大100万円／年

ただし、2年間を限度とします。

応募資格

上記の活動の企画・運営を行う機関またはコンソーシアムの代表。

※原則、地方自治体からの応募はできません。教育センター等が参画される場合、教育センター等からご応募いただいても結構です。

※先生方の自主的な研究会は、組織体として整備され教育委員会が承認または認知した組織に限ります。

■平成29年度にプログラム助成を受けている場合は応募できません。

■1校から1件の応募をお願いします。

■一貫校、義務教育学校等も対象とします。

平成30年度助成の
応募期間

平成29年10月15日～12月10日

応募
方法

当財団ホームページにて、応募要領を確認の上、
ウェブシステムよりお申し込みください。
（応募期間前の入力はできません）

応募の
流れ

ユーザー
登録

Web
入力

応募
完了

過去の
贈呈数

第4回（平成29年度）【プログラム】40件、【個別】56件、【小学校の先生支援プログラム】12件
第3回（平成28年度）【プログラム】39件、【個別】57件、【小学校の先生支援プログラム】6件
第2回（平成27年度）【プログラム】28件、【個別】58件

事例紹介

プログラム
助成

宮城県石巻工業高等学校

防災を通して科学のおもしろさを理解する取り組み

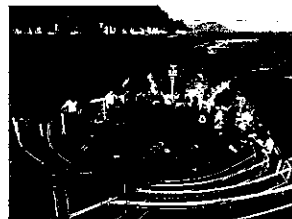
東日本大震災で石巻は甚大な被害を受けた。町全体で復興に向けて取り組んでおり、石巻工業高校は地域で活躍できる工業技術者の育成を行っている。特に土木システム科の生徒は、震災で大きな被害を受けたインフラ整備の技術を学んでいる。その強みを生かして、ICTを活用して、地域防災の調査を行うとともに小中学校への出前授業において可視化しながら災害から守るために役立つ意義や役割について理解を深めた。防災への取り組みだけでなく、実務者として石巻の「まちづくり技術者」を育てることを目指している。



滋賀県立高島高等学校

源流域と琵琶湖をつなぐ流域環境の探求

高島高校は、琵琶湖の北西部に位置し冬は雪が深い。湖と山野に囲まれた自然豊かな環境にある。地元の中学校からの進学者が多く、その意味では、地域への愛着や密着度が高い。そこで地元の中学校と連携して生物多様性と特徴的な生態系について、観察や実習を通じて自然資源、文化資源を活用した学習を展開している。琵琶湖の水質調査やプランクトンの観測により湖沼生態系を学び、また、特産の鮎寿司づくりに挑戦するなど、2年をかけて「里山、里湖」としての源流域と琵琶湖をつなぐ流域環境を探求する計画だ。



個別助成

北海道湧別高等学校

地域に根ざしたバイオマス発電の構想

日本のエネルギー政策はいま大きな転機を迎えている。なかでも注目されている再生可能エネルギーを積極的に取り入れているのが同校のあるオホーツク地方だ。特にバイオマス発電が充実しており、湧別町では牛の糞尿を用いた発電が行われている。自らバイオマス発電を体感するため、バイオエタノールの材料となるジャガイモを育て、バイオマス発電所を見学したのち、エタノールを作成し燃料化実験を行った。未来のエネルギーについて、深い考察が得られたため今後も研究を進める予定だ。



奈良県立桜井高等学校

フラーレンを使った墨作り

奈良県の特産品である墨は、煤(すす)と膠(すく)と(にかわ)から調製される炭素コロイドであることが知られている。当校科学部では、墨作りの原理を活用し、鉛筆の芯などの様々な炭素材料を煤の代わりに用いることで、膠を活用した新規炭素コロイド調製に成功した。さらに研究を進め、炭素微粒子の水への分散化の技術をフラーレンに応用できると考え、実験を重ね、ついにフラーレン墨の調製に成功。この研究は、多方面で高い評価を受け、日本学生科学賞や高校化学グランドコンテストで数々の賞を受賞した。



小城市立声刈中学校

有明海から学ぼう!

ムツゴロウ・シオマネキの採捕禁止区域に指定・保護されている干潟がある地域に立地した小規模校として、これらが、身近に見ることのできる環境を活かした理科教育をやりたいと考えた。しかし、生徒の多くは干潟の環境やそこに生息する生物の希少性に気づいていなかった。学校全体でムツゴロウを題材とした理科の総合学習に取り組んだ。実際のフィールドでの観察、解剖、生態、環境問題、そして食文化にまで発展的に展開。学習を通して、地域環境の貴重性を実感し、環境保全の心情をも育まれた。

小学校の
先生支援
助成

新宿区立富久小学校

都心部の小学校に通う児童の科学的な見方や考え方を育む小学校連携

子供たちの「理科離れ」が指摘されて久しく、科学的なリテラシーを高めることが教育の大きな課題となっている。一方都心の学校は自然が少なく、小規模校が多く多様な考えに触れる機会が少ない。そこで区内の小学校が連携して、学校、教員、児童を一つの学びのチームとし、アクティブ・ラーニングの手法で問題解決に取り組む組織やカリキュラムを作成することにした。実践の結果、小学校同士が連携して学びの共同体をつくり、教員、機材、アイデアを共有することで、児童の科学への興味関心が高まり、さらに、交流を通して多面的に科学的現象にアプローチができる力が育まれた。連携により、子供たちだけでなく、先生方も躍進したようだ。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 国際健康開発センタービル(IHDビル)5階

本部 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階